

4°C

holdings group

株主の皆様へ

～ すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただきましたら幸いです。



代表取締役社長
増田 英紀

株式会社4°Cホールディングス 第73期第2四半期株主通信

(2022年3月1日から2022年8月31日まで)

2023年2月期第2四半期の総括

2023年2月期第2四半期累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)の連結業績は、売上高185億14百万円(前期比4.0%増)、営業利益6億45百万円(同50.1%増)、経常利益8億22百万円(同14.9%増)、四半期純利益5億13百万円(同83.2%増)となりました。

当社グループを取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限および外出自粛の緩和による人流の回復に伴って、個人消費に持ち直しの動きが見られました。

事業別業績につきましては、ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、ピアスやプレスレットを中心としたトレンドアイテムの拡充により女性客の支持が拡大いたしました。

アパレル事業では、デイリーファッション「パレット」は2店舗の新規出店に加え、商品提案力の強化により既存店が好調に推移したことで売上高が拡大し、営業利益は計画を上回りました。アスティグループは、一部で円安や原材料の価格高騰が影響したものの、需要回復を受けて主力得意先との取り組みを強化したことにより、売上高が拡大いたしました。

通期業績見通しと下期の重点施策

当社グループを取り巻く今後の経営環境は、ウィズコロナ時代に移行し、個人消費の持ち直しが継続する一方で、資源・エネルギー価格の高騰や円安の進行による業績下押し圧力が高まる懸念があると捉えております。

ジュエリー事業では、最大需要期のクリスマス商戦に向けて、「4°C」ブランドが特別な日の贈り物に選ばれるブランドとして、お客様からの支持を拡大するために、各ブランドの商品戦略や販促施策、集客対策を強化してまいります。また、プライダルジュエリーでは、店舗の移転による集客力の向上を図ることに加えて、接客スペースを拡大し、お客様がじっくりと商品を選べる快適な空間を提供することで顧客満足度の向上に努めてまいります。

アパレル事業では、デイリーファッション「パレット」は関西ドミナント戦略の継続に加えて、初進出となる関東圏において、下期に4店舗の出店を計画しております。

株主の皆様への利益還元について

当社グループは株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しており、安定的かつ継続的な配当と機動的な自己株式の取得により、利益還元の水準向上を方針に定めております。この方針の実現を明確にするための指標として「DOE」(自己資本配当率)4%以上を掲げております。

将来の1株当たり100円配当の実現を中長期的な目標のひとつに掲げるなか、当期の1株当たり配当金は、中間・期末含めて年間83円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第6次中期経営計画の基本方針

(2022年2月期～2024年2月期)

方向性

ジュエリー事業 「4°C」ブランドの価値向上に向けた投資の実行
アパレル事業 「パレット」の成長で売上拡大を牽引

第二の柱の確立による
強固な事業ポートフォリオ構築

事業ビジョン

1 ジュエリー事業

- 「4°C」ジュエリーのブランド価値向上
- 「Canal 4°C」の出店拡大
- お客様とのエンゲージメント強化によるLTV*向上
- デジタル戦略の高度化とEC売上高の拡大
- 高収益体質の維持・強化

*LTV(ライフ・タイム・バリュー)：顧客生涯価値。

2 アパレル事業

- 「パレット」の出店拡大による関西ドミナントの更なる深耕と組織体制・運営力強化
- 海外生産拠点の再構築・強化と新たなマーケット創造

組織ビジョン

1 グループ経営管理機能の強化

2 グループ人材育成の推進

3 新常態に向けた働き方改革の推進

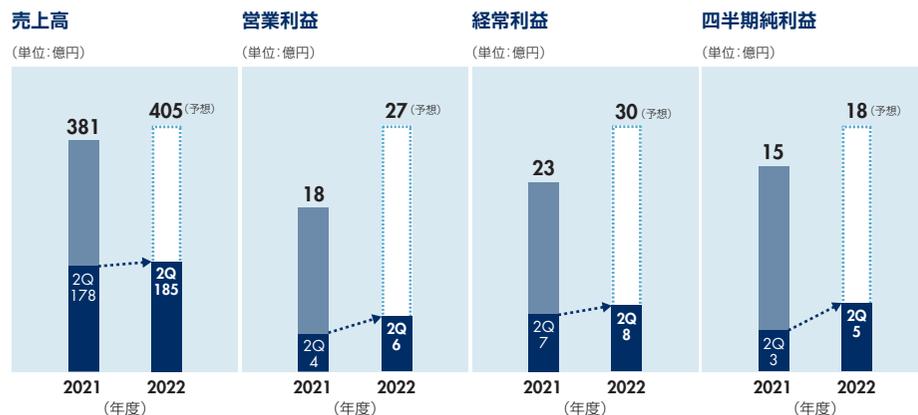
2023年2月期第2四半期(2022年3月～8月)連結決算概要

2023年2月期第2四半期連結業績

- 2023年2月期第2四半期累計期間(3月～8月)は、ジュエリー・アパレル事業ともに好調に推移し、増収増益となりました。
- アパレル事業は円安と原材料価格の高騰により減益となりましたが、ジュエリー事業が健闘したことにより、利益は二桁増となりました。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
18,514 百万円 (前年同期比 +4.0%)	645 百万円 (前年同期比 +50.1%)	822 百万円 (前年同期比 +14.9%)	513 百万円 (前年同期比 +83.2%)

(注) 不動産賃貸収入および不動産賃貸費用について、従来「営業外収益」、「販売費及び一般管理費」および「営業外費用」に計上していましたが、当連結会計年度より「売上高」および「売上原価」に計上する方法に変更し、これに伴い、前期、当期ともに表示方法を変更しています。また、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しています。



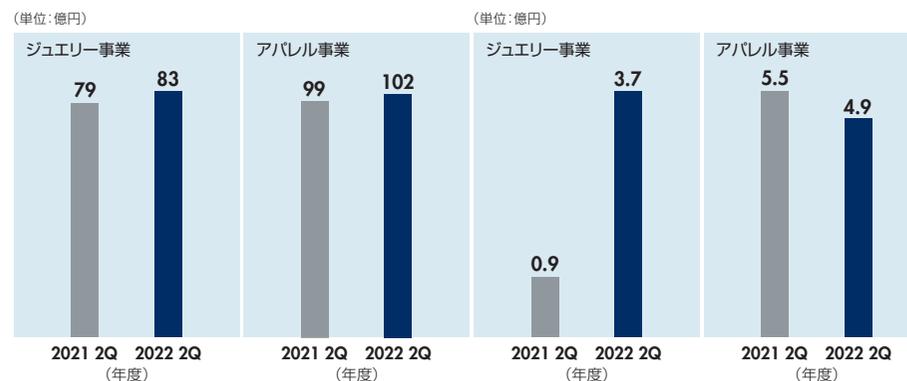
セグメント情報

- ジュエリー事業は増収増益となりました。50周年限定商品やピアス・ブレスレットをはじめとしたファッションジュエリーが好調に推移いたしました。EC事業も3月にサイトをフルリニューアルした効果があり、売上高は順調に拡大いたしました。
- アパレル事業は増収減益となりました。デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、2店舗の新規出店に加え、商品提案力の強化により既存店が伸長したことで売上高は拡大し、営業利益も堅調に推移いたしました。アスティグループは、一部で円安や原材料価格高騰の影響を受けたものの、需要回復と主力得意先との取り組み強化により、売上高は拡大いたしました。

事業区分別業績	売上高 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2022年2月期第2四半期	2023年2月期第2四半期	前年同期比(%)	2022年2月期第2四半期	2023年2月期第2四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	7,931	8,306	+4.7	94	370	+293.9
アパレル事業	9,875	10,207	+3.4	547	490	△10.3

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する売上高を表示しています。

事業区分別売上高



トピックス

「4℃クリスマスコレクション」の展開

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃」では、2022年10月28日(金)よりクリスマスコレクションを展開しています。今年の「4℃」のクリスマスは“True White”をテーマに、ダイヤモンドやトパーズ、オパールなど白く輝くストーンを使用し、この季節にぴったりの特別なコレクションをご用意いたしました。シーズン感がありながらもベーシックなデザイン性や、ピアス・ブレスレット等のトレンドアイテムの拡充により商品提案力を強化し、女性からの更なる支持拡大を進めています。また、女性からの好感度が高い著名人との雑誌タイアップや人気スタイリストとのコラボレーション企画等、プロモーションにおいても積極的に取り組んでまいります。



「4℃クリスマスコレクション」広告

「4℃ BRIDAL」ランドマークプラザ店 移設オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃ BRIDAL」ランドマークプラザ店が2022年10月22日(土)にリニューアルオープンいたしました。これまではランドマークプラザ1階に出店していましたが、桜木町駅とみなとみらい駅をつなぐ3階メインフロアへ移設したことにより、通行量の多さを活かした集客力の向上が期待できます。店内に入ると正面の大きなガラス窓から海が見え、みなとみらいの景色が一望できる開放的な空間となっています。お近くにお越しの際は、同フロアにオープンした「4℃」ランドマークプラザ店とあわせて、ぜひお立ち寄りください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



「4℃ BRIDAL」ランドマークプラザ店



開放的な空間の店内

バスタオル寄贈

株式会社アスティ

(株)アスティでは、毎年「敬老の日」に合わせて老人福祉施設へバスタオルの寄贈を行っています。52回目となる今年は、初めてバスタオルとフェイスタオルをセットにし、広島市内97カ所の老人福祉施設へお届けいたしました。これに先立ち、9月5日(月)に広島市役所を訪問し、広島市長に目録を贈呈しました。今後も地域社会への貢献に取り組んでまいります。



老人福祉施設へのバスタオルの寄贈

「パレット」関東圏へ進出

株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、2022年9月22日(木)に東京都稲城市にプレスポ若葉台店を、9月29日(木)には東京都八王子市にアクロスモール八王子みなみ野店をオープンしました。「パレット」として関東圏への初出店となります。9月14日(水)には福岡県北九州市にチャチャタウン小倉店もオープンしており、2022年9月度は3店舗をオープンしました。さらに10月・11月には合わせて5店舗の出店を計画しており、年間では10店舗の出店を予定しています。今後も出店拡大を進めるとともに、暮らしを、ファッションを楽しみたいというお客様のために、いつも楽しい商品とサービスを提供し続けてまいります。



「パレット」アクロスモール八王子みなみ野店

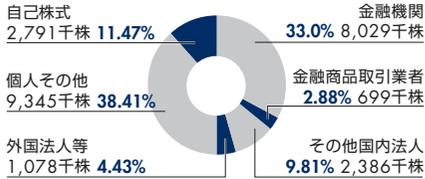
株主情報

株式情報 (2022年8月31日現在)

発行済株式総数	24,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	18,213名

株式分布状況 (2022年8月31日現在)

■ 所有者別株式分布

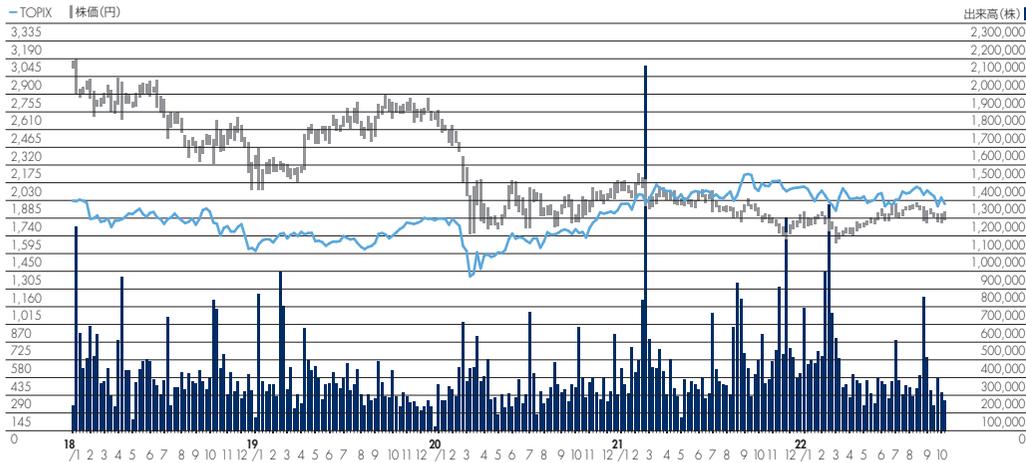


大株主 (2022年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,196	9.02
第一生命保険株式会社	1,078	4.43
株式会社広島銀行	1,069	4.39
株式会社三井住友銀行	781	3.21
4℃ホールディングスグループ共栄会	779	3.20
株式会社伊予銀行	739	3.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	709	2.91
尾山嗣雄	405	1.66
SMBC日興証券株式会社	375	1.54
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行 再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	352	1.44

注: 当社は自己株式2,791,068株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3295 / FAX: 03-5719-4462

経営企画部 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>

会社概要 (2022年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業 および小売事業
連結子会社	8社
決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法) 当会社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) https://yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	8008

株主優待券の新規ご利用可能店舗(2022年10月1日~11月1日時点)
[バレット] 南港ポートタウンショッピングセンター店・桜台店・深大寺店 [アスティ] 広島本社

株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時~午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項は、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。